

8月

ふれあいルーム便り

通所介護・介護予防・日常生活支援総合事業
医療法人社団芙蓉会 デイサービスふれあいルーム

2024年8月15日 No.347

ふれあいフルーツCafé

栄養課主催のフルーツCaféで、楽しい午後のひとときを過ごしました。大きなスイカの中は、ゼリーで固められたブドウやスイカ、キウイなど色とりどりに入っていました。「すごい、美味しそう」と拍手と歓声があがり、自分のもとに配られるまでわくわくです。暑い夏にひんやりのど越しの良いおやつは、とても好評でした。



スイカの中はフルーツとゼリー



押し花のしおり

生花を押し花にして、しおりを作ってみました。

お花がとてもきれいなので、みんなの表情も自然とやわらかくなり、扱いも丁寧になります。「昔は電話帳で押し花を作ったよね」など昔の思い出話から「最近は乾燥シートを使うのよ」と最新情報まで楽しい作業をしている時はリラックスモードになり、気持ちも落ち着きます。今度は違うお花を準備して、新しい作品を作りたいと思っています。



おとなのかるた



いつも盛り上がる「かるた」。おやじギャグかるた、ことわざかるた、ヒントから読み当てるカルタなど、種類もいろいろ。読み上げる前は部屋がシーンと静まり返って集中力が高まります。頭と耳を沢山使い、脳への刺激につながり認知予防にもなります。

料理レクリエーション

毎月第1水曜日開催

今月の料理レクリエーションは、リクエストにお答えして蒸しパンと、ところてんを作ってみました。ところてんを作ってみて、「自分たちで作れると思わなかった」「ところてん突きをはじめて使った」など、作る楽しさや達成感を感じれるレクリエーションになりました。蒸しパンができ上がると「懐かしいにおい」「子供の頃を、思い出す」との声が多く、また作りたい、次は何を作ろうという気持ちにつながります。できることを自分たちでやる活動は、生活の張りにもつながり生活の楽しみとなります。



季節を感じる

ふれあいルームの午前中には趣味の時間があります。塗り絵や貼り絵、刺し子など、多くの方が取り組んでいます。豊富な見本から、どの作品を作りたいかご自分で選んでいただけますが、季節に合った作品を提供する事を心がけています。外出が難しい方にも季節を感じていただき、室内で過ごす単調な毎日にもいい刺激になると考えています。季節感のズレも認知症の症状の一つです。真冬に夏服を着たり、夏なのに毛布をかけて寝ようとしたり、季節に合わせた判断が乏しくなります。季節を間違えて行動することで、熱中症や脱水症になる危険性もあるため、気をつけなければなりません。会話の中に季節や日付の話題を入れることで、季節感が認識しやすくなるでしょう。



042-788-3302



042-788-3303

FAX番号が変わりました

ご利用日の案内

月曜～土曜日、祝祭日
9:30～16:40
日曜日はお休みです